

平成29年度 5年生春季合宿勉強会 学生・教員懇談会報告書

1. 期日 平成30年2月20日（火）12:00～13:00
2. 教職員 戸田晶久、村山恵子、安川圭司、副田二三夫、松延千春、上野雅継、
江藤和彦、内田直樹 計8名
3. 学生 合宿参加者5年から選出 計10名
4. 場所 大会議室
5. 懇談テーマ（合宿勉強会などについて）
6. 出席学生10名に向けて

Q1. 合宿勉強会の良かった点は？

- ・規則正しい生活ができ、23時まで先生に質問ができること。
- ・生活習慣を見直す良い機会だった。
- ・5年生という時期に基礎を学べる良い機会であった。
- ・少人数であり学校で授業を受けるよりも集中できる。
- ・自宅にいるときより机に向かう時間が多かった。
- ・生活のリズムと勉強習慣の見直しができた。
- ・生化学と薬理をからめた授業をしてもらって良かった。

Q2. 合宿勉強会で改善して欲しい点は？

- ・23時以降部屋に帰ってきて廊下で話している声が聞こえたので、勉強するのに支障がある。
- ・体を動かす時間があれば良かった。
- ・シャワー室がとても狭かった。
- ・経済大学の男子寮規則で食事・清掃の後でなければ、バッグを食堂に持ち込めなかったので食堂で21:00～23:00までしか勉強する時間がなかった。
- ・環境衛生（科目）を増やして欲しい。
- ・講義の時間を増やして欲しい。
- ・基礎をやってもらえたのはありがたかったが、もう少しハイレベルな問題もやりたかった。
基礎クラス・応用クラスに分けてやれば参加者も増えるのではないかと思う。
- ・8日間の日程のうち2日間は移動で、講義が5日間しかなかった。時間がもったいない。
- ・物理系の計算の講義はあったが、基礎に関する講義がなかった。

Q3. 生活習慣が改善できたということであったが、どのような点が改善できたのか？またそれは、今後、継続できそうか？

- ・今まで朝食を食べていなかったが、これからは早く起きて朝食を食べるようにする。

Q4. 合宿を実施するのは5年の時期と6年の時期ではどちらがよいか。

- ・5年の実務実習が終わってからという今の時期が良い。

Q 5. 合宿の授業環境について

- ・スクリーンの前の電気が消えなかったので、後ろから見えづらかった。
- ・マイクがはいらないときがあったので、声が聞こえづらかった。
- ・通常は70分授業で10分間の休憩であったが、朝は9時からテスト後、引き続き授業があった。この場合は15分間の休憩が欲しい。

Q 6. 1年生から各学年、春休みに合宿を行ったら参加するか

- ・低学年のときはまだ時間があるということではないのか。

Q 7. 合宿ではないが、合宿のように大学で朝食を食べて、合宿のような講義を行ったら、参加するか？

- ・合宿という普段とは異なる場所や環境で行う事でやる気になる。大学で同じように行っても参加しない。

Q 8. 合宿勉強会全体を通しては何かないか。

- ・日経大と比較して薬科大のトイレが汚く、女子トイレは冬は使用時に冷たい。きれいにしてもらいたい、少なくとも暖房便座にしてもらいたい。
- ・4年前であるが、トイレに閉じ込められたことがある。建付けが悪くなく鍵が故障していた。

Q 8の学生のトイレに関する意見に対して

- ・トイレは少しずつ改修している。
- ・3年後に建て替えの計画があるので、本館のトイレの改修は難しいかもしれない。

Q 9. その他大学に対しては何かないか。

- ・警備員さんに日赤通りの歩道で人の交通整理をしてもらいたい。東門の出入りの際にぶつかりそうになるときがある。

Q 9の学生の意見に対して

- ・一般の人への対応となるので、慎重に検討したい。

7. 今後に向けて

本懇談会は、学生から忌憚の無い意見が出された。学生の意見を前向きに検討し、対応する。

主な改善を希望する意見は、「合宿を効率的にできるようにしてもらいたい。」、「メリハリ（途中の休憩時間に学習以外の企画を入れるなど）がほしい。」、「基礎レベル・応用レベルのクラスをつくらせて対応してもらいたい。」などであった。

以上